

しらきじんじゃほんでん

白木神社本殿

つきたりぐうでん

附 宮殿

昭和28年9月7日指定



■ 所在地 伊佐市大口白木813

■ 所有者 白木神社

■ 特 徴

伊佐市大口の白木地区にある白木神社は、棟札(おなふだ)などによると、応永15(1408)年、白木山長福寺の観音堂として建てられたとされています。

建物は間口3間、奥行3間で内部は板敷、中央に1間の内陣を備えており、内陣の後ろの柱を後方へずらした一間四面堂です。屋根は寄棟造で、正面に瓦葺の向拝をつけています。

永禄7(1564)年、寛延2(1749)年、天保15(1844)年の3回修理されているため後補の部分が多いですが、木鼻の彫刻、肘木曲線やその簡素なところに、中世建築の風格をよく残す貴重な茅葺の建造物です。